

(様式2(1))

事業所名 グループホーム アリス甲子園

作成日: 令和 5 年 8 月 8 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	4	①運営推進会議録が誰でも閲覧可能な状態になっていない。②会議への利用者様の参加がない。	①正面玄関スペースでの展示②利用者様の会議への参加。	①施設の許可。②利用者様、その家族様への確認	1ヶ月
2	6	委員会の会議録への確認欄の活用が出来ていない為職員への周知させているかを確認できない。	閲読後の確認印をお押してもらい把握できるようにする。	押印、またはサインをしてもらい把握していく。未読者への声掛け。	1ヶ月
3	23	入居後に利用者様や家族様とのコミュニケーションで得た新たな情報が生活歴シートなどには反映されていない。	業務中などのスタッフ同士の会話の中だけでなくケース記録やアセスメントシートの定期的な更新、生活歴シートへの追記を行いそこからの情報の共有もできる形を目指す。	申し送りノートには書いてあるが、主であるパソコンのケースには記録の未記入な事が多い、何を記録していくべきなのか再度認識してもらう。記録者を明確にする。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。